

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	市民健康課長 菊池 隆		
健福-37	重点事業	救急医療対策事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	市民健康課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の急病などに対応するため。
効果	休日・夜間の急病に迅速な対応を行う。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・休日、夜間に地域医療センターで小児科を含む内科の急患診療を行った。また、ゴールデンウィーク及び年末年始に加え、繁忙期(12月～2月)の日曜日及び祝日も二科体制での診療を行い、小児救急体制を充実させた。 ・二科による診療を効率的に実施するため、診療所の改修を行った。 ・緊急の入院や手術が必要な患者に対し、医療体制整備を委託し、休日、夜間、土曜に内科・外科の診療を行った。 ・市民からの問い合わせに対し、医療機関案内を行った。毎夜間(23時～翌朝9時)、土曜日(9時～18時)については、音声自動応答により救急医療機関の案内を行った。 ・休日昼間に歯科急患診療を行った。また、週1回、障害者歯科診療を行った。 ・鎌倉市内の救急医療機関において、医療費の負担能力に欠ける外国人市民に係る救急医療に関し発生した損失医療費について、補助金の申請はなかった。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日(住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数	
運営資源状況	決算値(千円)	166,655	170,809	当初予算(千円)	164,221
	国県支出金	4,740	4,946	国県支出金	5,030
	地方債	0	0	地方債	0
	その他	1,534	1,534	その他	1,534
	一般財源	160,381	164,329	一般財源	157,657
	人員配置数	0.8	0.8	人員配置数	0.8
			会計年度任用職員配置数	0.0	
事業経費運営	人件費(千円)	6,305	6,480	人件費(千円)	6,502
	総事業費(千円)	172,960	177,289	総事業費(千円)	170,723
	市民1人当りの経費(円)	981	1005	市民1人当りの経費(円)	967
			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している	
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない	
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	
		協働実施済の場合のパートナー	
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの理由 休日急患歯科診療所における障害者歯科診療の需要が増えているため、診療日数及び診療時間の見直しを行う。
			事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	障害者歯科診療における患者数が増えているため。
	総評(評価に対する考え方、根拠等)	休日夜間急患診療所は、診療室の改修や、前年度までと同様に二科体制(内科・小児科)の充実を図ったことで、効率の良い急患対応につなげることができていることから、今後もそれを継続していくとともに、感染症対策の面も考慮した対応を図っていく。障害者歯科診療所は、その性質上民間などが参入する可能性は低いが、それがゆえに市民のニーズは高く、現状の週1回の実施では対応できなくなる可能性があるため、回数の増加など更なる充実を図る必要性は高い。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	(休日夜間急患診療所)二科体制を効率的に行うための診療室の整備について、医師会と調整していく必要がある。(口腔保健センター)平成30年度から診療時間の一部短縮を行った休日急患歯科診療及び平成30年2月から開始した障害者歯科診療について、患者数等の状況を見ながら、歯科医師会と引き続き詳細な協議・調整を行っていく。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	(休日夜間急患診療所)診療室の整備について、二科体制を効率的に行うために改修工事を行った。(口腔保健センター)障害者歯科診療について、診療体制や開設時間の協議を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	(口腔保健センター)休日急患歯科診療所(障害者歯科を含む)について、その需要を鑑み、今後のあり方について引き続き協議を行う。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	令和元年度休日夜間急患診療所の小児患者(上段:小児患者数/下段:患者のうち小児患者の占める割合)(平塚市、藤沢市及び逗子市は平成30年度の実績)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	逗子市				
他市実績	1,004人 53.2%	9,878人 44.7%	8,699人 39.2%	2,218人 33.3%				

比較事項	令和元年度障害者歯科診療の延べ患者数及び実施日数(藤沢市、平塚市及び逗子市は平成30年度の実績)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	逗子市				
他市実績	389人 48日	4,379人 194日	1,259人 97日	358人 95日				

比較事項	令和元年度休日急患歯科診療の患者数(藤沢市、平塚市及び逗子市は平成30年度の実績)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	逗子市				
他市実績	333人 77日	537人 72日	381人 72日	211人 72日				

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	(休日夜間急患診療所)休日夜間急患診療所における小児科診療のニーズに対応するため、今後も高い配置率を維持する必要がある。(口腔保健センター)障害者歯科診療において、今後予測される患者数増に対応していくためにも、歯科医師会と協議を行っていく必要がある。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	休日夜間急患診療所の小児科医配置率					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
小児科受診者数が年々増加している傾向にあり、ニーズが高まっていると考えられるため	目標値	50.0	60.0	70.0	80.0	90.0	100.0			
	実績値	46.7	60.5	68.3	67.3	68.9	63.0			
	達成率	93.4%	100.8%	97.6%	84.1%	76.6%	63.0%			
指標の内容	休日急患歯科診療の患者数(平成29年度以降は障害者歯科診療も含む。)					単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
休日急患歯科診療及び障害者歯科診療について、それぞれのニーズの推移を見ながら歯科医師会と診療日数、診療時間等の調整を図っていくため	目標値	300	300	300	300	300	300			
	実績値	284	249	222	216	444	722			
	達成率	94.7%	83.0%	74.0%	72.0%	148.0%	240.7%			
指標の内容	休日夜間急患診療所の小児患者数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
小児科受診者数が年々増加している傾向にあり、ニーズが高まっていると考えられるため	目標値	-	-	-	-	1,500	1,600			
	実績値	880	1,169	1,160	1,433	1,235	1,004			
	達成率	-	-	-	-	82.3%	62.8%			

指標の内容	障害者歯科診療の患者数					単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			平成30年2月開設(30年度は47日、令和元年度は48日診療を実施)
障害者歯科受診者数が年々増加している傾向にあり、ニーズが高まっていると考えられるため	目標値	-	-	-	10.0	141	240			
	実績値	-	-	-	11	229	389			
	達成率	-	-	-	110.0%	162.4%	162.1%			
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	<p>(休日夜間急患診療所) 休日夜間急患診療所の患者数に占める小児患者数の割合は、他市との比較においても高い水準で推移している。平成30年度から、ゴールデンウィーク、年末年始並びにインフルエンザ等が流行する12月から2月の日曜日及び祝日に小児科医の配置を追加し、二科体制での診療を強化した。</p> <p>(口腔保健センター) 鎌倉市歯科医師会に加入している20以上の診療所が休日に診療を行っている現状があることから、休日急患歯科診療の目標値は据え置き、事業の縮小を検討していく。一方で、障害者歯科診療は、鎌倉市口腔保健センターの建物がバリアフリーであり、患者が利用しやすい環境となったことから、患者数の増加が見込まれる。</p>									